



平和統一 NEWS



平和統一聯合
第七連合会
機関紙
第 5 号 (新年号)

平和統一聯合第七連合会 (兵庫・岡山・鳥取)
〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通 7-1-2
ネオアージュ神戸元町 1001 号
TEL. 078-360-0757 FAX. 078-367-4323
HP : <http://fpu7.main.jp/> E-mail: fpu7@bh.main.jp

発行 平和統一聯合
第七連合会
発行人 趙希秀
2009 年 1 月 1 日



謹賀新年



第七連合会 会長 趙希秀

새해 복 많이 받으세요 (セハ ボク マニ パドゥセヨ).

新年明けましておめでとうございます。

2009 年 1 月 1 日元旦、21 世紀も早 10 年目を迎えることとなりました。「祖国平和統一成就」と希望を抱き出発した 21 世紀、地固めも終え飛躍の年を迎える決意で、会員の皆様と共に新年を迎えたいと思います。

昨年は、金融危機により世界的に経済が崩れました。今、世界各国が協力を叫んでいます。稀に見るこの経済危機を世界が一致団結して乗り越えていかなければなりません。統一の上に平和があり、平和の上に繁栄が来ます。新年はしっかりと、在日の和合の強い絆を手繰り寄せる年としたいと思います。

「家和萬事成」と言います。会員皆様のご家庭に天のご加護と祝福が満ち溢れんことを祈願致し、新年の挨拶とさせていただきます。

第 15 回平和統一セミナー開催・兵庫県



11 月 30 日 (日)、西宮大学交流センターにおいて兵庫県東ブロック (尼崎支部・西宮支部・阪神支部・宝塚支部) の第 15 回平和統一セミナーを開催。セミナーのあと、場所を移して会長を囲んで、参加された在日の方々と意見交換をして親睦を深めました。今年度は、本部主催の麗水セミナー、第 7 連合会においてはパンフレットの発行、平和統一 NEWS の創刊、ホームページの開設などさまざまな活動が中心となりました。その活動を土台として、在日の『IDENTITY』という新たなるテーマで第 7 連合会の趙希秀会長によるセミナーを開催しました。今後 12 月から 2 月にかけて各県において開催していく予定です。

第 1 回平和統一原理セミナー開催・岡山

秋も深まる 11 月 29 日 (土)、第 1 回平和統一原理セミナーを岡山県本部事務所 1F にて開催いたしました。スタッフも含め全体で



16 名参加し、在日ゲストは 7 名でした。

午前中 10 時 30 分から、前半の 40 分で「韓民族の立場と使命」、後半 40 分で、「創造原理 I」を横畑茂常任顧問から聞きました。「それは初めて聞いた」と言葉に出して言われる場面が何度かあり、興味深く受講されていました。午後は、小泉政幸副会長の講義と 11 月 22 日からのハワイツアーのスライド写真を使った報告会がありました。祖国訪問ツアー、アメリカツアー、麗水ツアー、ハワイツアー、講演会、イベントなどに参加された在日の代表が、少しずつ南北統一に向けたコミュニティーを形成してきています。今後 2 か月に一度同セミナーを開催し原理を学び心情を深めてゆく予定です。

FPU岡山 2008 年送年会



去る12月13日(土)、2008年を締めくくる意味で、岡山県本部の役員、支部長、副支部長、担当者の忘年会(送年会)を事務所1Fで行いました。参加者全員

が、一品料理や果物、ドリンクなどを持ち寄り、21名が参加して行われました。

まず李玉姫会長の一年間の活動の労をねぎらう挨拶に始まり、事務局長の2008年の活動報告と2009年の活動計画案の発表、その後、洪在源顧問の乾杯の音頭で昼食会に入りました。

女性は一品料理、男性は果物かドリンク持参で、ホテル料理よりもはるかに美味しい一品料理にしたつづみをうちながら、楽しく語り合いました。



後半は、カラオケ会に入り、一年の感想などを述べながら全員がカラオケを歌い、一年間を締めくくりました。

鳥取県本部 忘年会

今年の締めくくりとして、12月22日(月)お昼に鳥取県本部主催の忘年会を米子市の「ゆめ温泉」で開催いたしました。

スタッフも含め、16名が参加。(在日の方は6名、県議会副議長1名も含め、日本の会員が4名)松永副会長の挨拶、県会議員の乾杯の音頭の後、カニ料理を中心とした美味しい昼食を頂きました。その後、佐布会長のお話し、カラオケ、参加者の感想(祖国に対する想い、平和統一聯合に対する要望)などとてもなごやかに、かつ来年に向かって、「頑張ろう!」という意欲を鼓舞されるような良き交流のひと時でした。最後に森谷事務局長から「来年3月22日に鳥取県本部3周年総会を予定しています。」と発表があり、温泉にゆっくり入浴して頂いて解散となりました。



第16回平和統一セミナー開催・兵庫県

11月30日に続き、12月21日に明石のアспピア内、生涯学習センターにおいて西ブロック(明石・加古川・姫路)中心の第16回平和統一セミナーを開催。



2008 年度忘年会及び

賢人会発足式開催・兵庫

12月23日、神戸 プラネットにおいて2008年度の忘年会及び賢人会の発足式を開催。会員と在日の方々37名の参加で行われました。開会宣言の後、趙希秀会長の挨拶、3周年記念講演会後の活動内容、賢人会発足の経緯の発表、曹小煥 スンによる賢人会発足の挨拶、李英浩幹事による乾杯と続けました。その後、食事をしながらの参加者の自己紹介、食事終了後カラオケを楽しみながら、それぞれが親交を深めました。カラオケの最後には、韓国婦人による韓国民謡で多数の方が踊りだすほどの盛り上がりでした。



姫路支部懇親会

12月26日姫路支部において懇親会を開催。今まで平和統一聯合のさまざまなイベントに参加された在日の方とそのお友達、韓国婦人会のメンバーが支部長を中心に集いました。カラオケを楽しみながら親交を深め、姫路支部の2009年の更なる飛躍を誓いました。



主張

『在日の和合と共生』

在日とは、在日外国人を指す略称である。特にその30%近くを占める在日韓国人・朝鮮人を指す言葉でもある。'07年末現在で、日本の総人口1億2777万人の1.69%つまり215万2973人(190カ国)が在日外国人で、10年前の1.5倍に増えている。その内の27.6%の59万3489人が在日同胞である。ちなみに、在日中国人が60万6889人を数え、在日同胞の数を抜き、在日外国人第1位の外国人登録者数となった。

上記の統計を見ればわかるように、日本はすでに多文化共生社会を構成している。少子化の影響で政策上もこの傾向は益々強くなっていくようだ。その割には、日本は外国人に対して法的においても民間意識においてもまだまだ閉鎖的である。特に永住者に対しては、民族教育や地方の選挙権など法の整備が遅れている。民間の間でも、就職や賃貸契約など多岐にわたって不都合な立場である。昔ほどでもないが、日本は外国人にとって、まだまだ偏見と不都合が多い国である。

さて在日同胞社会は、オールド・カマー(終戦前)、ミドル・カマー(終戦後)、ニュー・カマー(国交回復後)と大別される。その多くのオールド・カマーの特別永住者も、すでに2世3世4世と広がっている。帰化した人も多く、日本人と結婚した人も多し、彼らの子供たちダブルも増えている。

古代の渡来人、文禄慶長の侵略時に拉致された人達を入れてみると古代カマーや中世カマーと言うべきなのか、ともかく日本人に先祖・同胞たちの血が多く混じっている。確かに見た目でもDNAから見ても同胞と日本人は酷似している。姿かたちだけではなく、言葉も韓国(朝鮮)語と日本語は言語学的にとっても近い言語なのだ。のみならず、食生活も近いのである。ある日本嫌いの韓国の文化人が、ヨーロッパ旅行の帰り日本に寄ったときの感想が、「故郷に帰ってきたようだ」と感じたと言う。街の雰囲気や人々の姿もそうだが、ご飯と味噌汁があるのもほっとさせるのである。

日本の植民地政策が原因で日本に暮らすことになり、また国交回復、グローバル化時代の世界的趨勢により日本に暮らすようになった在日同胞は、現在60万近くが日本で暮らしている。その大半がこの日本の地に根付いているのである。

日本は元々、和を重んじる八百万の神々を信じる多部族国家であった。その伝統を生かし多民族共生社会を営む手本になれば、世界平和は勿論、少子化による経済成長の低迷も解決できるのである。和の精神は相手の良きものを尊重し、学ぶ姿勢が重要である。願わくは、互いにこの精神を生かして、日本と世界の繁栄に貢献して欲しい。

日本総人口の0.4645%の少数民族である在日同胞は、互いに協力して暮らしてこそ今より暮らしが良くなるのにもかかわらず、祖国のように軍事境界線がない日本で、韓国民団だ、朝鮮総連だといがみ合っている。元々、独立直後に同胞愛・祖国愛から生まれた朝連と言う一つの団体が組織されたが、祖国の分断の影響を受け割れてしまった。早く、この純粋な精神に立ち戻り、分け隔ての無い在日同胞社会を築いてほしい。在日の和合は在日社会の繁栄と日本地域社会の繁栄に直結することは勿論のこと「祖国の平和統一のモデル」として祖国統一の手引きになれるのである。

在日同胞も日本人も自分の殻に閉じこもらず、胸襟を開き過去の恨みは水に流して、同胞愛と隣人愛で互いに仲良く暮らす社会を築き、祖国と日本の繁栄に貢献できる日が一日でも早く来ることを願いたい。他の為に生きる『真の愛』が、その唯一の精神であることを知って、日々の生活に生かして欲しい。

新年ご挨拶

平和統一 NEWS 第5号 (新年号)

岡山県本部 会長 李 玉姫

セヘ ポン マーニ パドゥセヨ。

会員の皆様、日頃私たちの活動にご協力をいただいている皆様、年末年始は、いかがお過ごしでしょうか？

また新しい年が始まりました。早いもので、民族の和合・南北の統一・世界平和を目指して出発した「平和統一聯合」も、昨年4周年を迎えました。この間、目指した目標にどれだけ近づけたか振り返ってみますと、まだまだ遠い道のりを感じます。

それでも、大規模に行われた三度に亘る祖国訪問の後、現在全国規模で行われている麗水セミナー、ハワイセミナーへの働きかけをしながら、百歩の道も一歩からという気持ちで、地元においては、平和統一原理セミナーを活動の理念的柱とし、新年会や花見会などの時節に応じた行事や、韓国料理教室やコース、カラオケや慰霊祭などを定期的に行っています。

そうした中で、表舞台で活躍される男性の方々に対し、岡山では、元気な在日のオモニたちや婦人たちがおられますので、今年は、韓国婦人会だけでなく、日本の女性たちと共に、女性パワーをもっと生かして活動を盛り上げ、全国を刺激していきたいと決意しています。

最後に、皆様と皆様のご家庭のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

オレド チャル プタク

トゥリゲッスムニダ。

鳥取県本部 会長 ^{さそゆういち}佐布雄一

謹賀新年

新年を迎え新たなる決意を持って出発されていることと存じます。あっという間に昨年も過ぎ去りましたが今年はこれまでにない激動の一年になるような気がいたします。私たちの平和統一連合は、それぞれ「南」「北」「日本」をバックグラウンドとして、それぞれの立場からの知識、情報、と経験を持っています。それらを持ち寄り、会の中に分科会を設け、日常的な話し合いと研鑽により、具体的な対策とスケジュール作りをし、活動目標を見定め、対社会的なアピールと提言をしていくことが出来ます。公平な立場で、それぞれの利益と権利・義務を考えながら、有意な提言をそれぞれの政府と国民に向かってしていくことが出来るのは私たちしかないのではないのでしょうか。今こうして日本という国に住み、世界のどこでも経験出来ないことを現実的に積み重ね、お互いにお互いを理解し得る最も近い立場にいる私たちに与えられた使命でもあります。

在日60万と言え、わが鳥取県の総人口に匹敵する数です。このグループが一つになれる環境作り、きっかけ作りをしていくことがわたしたちの使命ではないかと感じています。今年こそはこの鳥取県本部も3周年を迎え大きく一歩を踏み出すことでしょう。またそのような鼓動を感じる今日この頃です。本年も宜しくお願いいたします。

鳥取県本部 副会長 松永

新年明けましておめでとうございます。

平和統一聯合が設立されて4年が過ぎ去りました。その間様々なことが起り変化してまいりましたが、未だ変わってないのは、歴然とした南北分断の現実です。このことが当事国はもちろんのこと、日韓・日朝問題ひいてはアジア、世界平和にどれだけ影を落としているか計り知れません。60年の分断の間多くの人々のたゆまない努力と忍耐があったことは言うまでも無いことではありますが、人間の力の限界を感じざるを得ません。と言いますのは、昨年11月平和統一セミナーがハワイで開催されましたが、設立者であられる文鮮明総裁に侍るひと時がありました。そのとき文鮮明総裁は我々を遠く長い間離れ離れになっていた兄弟を一つの懐に掻き抱く親のように接してくださいました。そして日本に帰るときは、在日間の壁も、国の壁も、老若男女、すべての壁は無くなり、まさに兄弟姉妹のような絆が出来上がり力と希望がみなぎり、新たなる決意を持つようになりました。そこには南北分断も韓日葛藤もありません。あるのは感謝と平安と自由のみでした。南北平和統一は人間の知恵や努力が必要なことは当然ではありますが、人間の力と知恵の限界を超えた、天運と一つにならない限り不可能であることを感じるようになりました。今年こそはこの天運を掴み平和統一連合の本懐を果たして行く所存です。本年も宜しくお願い致します。

新年ご挨拶

平和統一 NEWS 第5号 (新年号)

兵庫県 副会長 曹小煥

春を迎えて(祖国の統一を願い)

2009年の新春に当たり“平和統一 NEWS”1月号の紙面から諸兄弟にご挨拶できることを大変うれしく思っています。

韓半島南北の統一いまだ成らざるを思うと“おめでとうございます”の言葉が出てきません。思えばこの半世紀使ったことはありません。分断された祖国を持つ民族の宿命なのでしょうか。一日も早い南北の統一と平和統一発展を心から願い、ただ手をこまねいて待つばかりではなく諸兄弟とよく集い、語り合い努力してゆきたいものです。

冬将軍が訪れる時節も間近に迫ってきました。くれぐれもご自愛ください。以上

岡山県本部 副会長 小泉政幸

セハ ポン マーニ パドゥシプシオ。

新年明けましておめでとうございます。

光陰矢の如く、あっという間の2008年が過ぎてしまいましたが、昨年を振り返って、平和統一聯合の掲げる目的の大きさに比べると、遅々とした歩みしかできなかったという思いに囚われます。

しかし、一方で、全国の会員の方々を中心に参加されている、麗水セミナーやハワイセミナーに直接参加してみて、少しずつですが、着実に在日の方々に私たちの活動の趣旨が伝わっていていることも実感しました。狭い在日社会の中で、在日同士の横々の強い繋がりが、影響を及ぼしているのです。

それゆえに、北朝鮮にいる全ての占い師達も信じているように、私たちの念頭には、“2012年までの南北統一”という目標を持っていますが、近い将来世界情勢の急激な変化が訪れた時、在日の方々の心に灯された火種が、一気に、南北統一に向けて一つになって燃え上がっていくと確信します。

そのためにも、今年も、麗水セミナーやハワイセミナーを柱としながら、会員の皆様と一緒に、さらに多くの在日の方々への地道な働きかけをしていきたいと思っています。

本年も、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

第七連合会韓国婦人会 会長 朴軟春 拝

祖国統一を念願する皆様と平和統一聯合関係者の皆様に深く感謝申し上げます。旧年は多事多難だった1年でした。2009年新春をお迎えし、皆様にとって福多き1年となることを祈願いたします。今年は、大きな抱負と小さな精誠を一つにして、世界平和と多文化共生時代を開く牝牛たるお母さんの役割を果たしたいです。本年度も温かき激励とご指導をよろしくお願いいたします。」

岡山県本部事務局長 中川和男

岡山県本部も4年目に入り、拡大展開(横的展開)の基盤の上に教育展開(縦的展開)に重点を置いてゆく年を迎えました。私も事務局長に就任し2年目を迎えます。一年間で事務局長としての流れをつかみ、今年さらに2倍の誠精を尽くし、教育とさらなる新規会員拡大に向けて積極的に取り組み、2012年までに韓半島統一を成し遂げることを念頭において、全体発展に貢献してゆきたいと思っております。

鳥取県本部事務局長 森谷司

新年あけましておめでとうございます。韓国、朝鮮との交流の歴史と実績という意味において、山陰(鳥取県)は表舞台でした。

21世紀の東アジア時代を考えても、鳥取県は地形学的に交流の表玄関として大きな役割があると

確信しています。今後、平和統一聯合鳥取県本部が、全国、第7聯合会を刺激していきけるような活動を展開していくよう、役員一体となって頑張る決意で新年を出発いたしました。

本年もよろしくご指導下さい。

兵庫県本部事務局長 福田秀樹

会員の皆様ならびに在日同胞の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。平和統一聯合第7連合会はこの3年半、さまざまな活動を展開してまいりました。3年半の活動を通して統一という2文字の重みを痛感いたします。まずは自分自身の心身の統一をなした上で、真の愛による南北統一をなすための在日の皆様の意思統一をする努力を昨年以上にしていきたいと思っております。統一・統一を合言葉に日々前進してまいりましょう。

“好きこそ物の上手なれ”

趙希秀 著

私は仕事柄、人前で講演したり、原稿を書いたりすることが少なくない。自分の考えや情感を上手く相手に伝えるには、文章力・表現力が必要になってくる。これを自然に身につけている才能ある人はいるだろうが、私にはこの才能が無い。だから結構苦労している。

私が多少とも書き物ができるのは、少年時代からの読書のおかげだろう。そうかと言って、私は読書家ではない。毎日、読書を続けている習慣は無いからだ。文学の才能も無く、興味も無い。そんな私が読書なんて、それはそれなりの理由がある。

人は文章を読まない、読みたがらないものだと思う。私もそうなのだ。物を買くと説明書が付いてくる。面倒臭がり屋の私は、あまり読みたくない。しかし知らないのが、もっと嫌なので読んでしまう。

と言う具合で、少年時代の私は物知り博士になりたかったから、国語辞典を熟読したり、年鑑を熟読したり、週刊漫画本(結構、隅々に雑学が豊富である)を熟読したりした。一度学校の奨励で、図書館から純文学を借りて読もうとしたが、ほんの数ページで止めてしまった。

中学生になると中学生用の月刊誌を購読した(付録が付いてくるからハハハ…)。この中に空想科学小説や推理小説が連載されていて、最初の小説との出会いだ。このときの私は、科学者を夢見、論理的な推論が好きな少年だった。このときから小説を買って読むようになった。特にシャーロックホームズを初めとしたシリーズを読破した。中学2年生ぐらいから、小林旭好きの私は、彼の出演作の原作の痛快娯楽小説をシリーズで読破した。毎日1冊の勢いで読んだ。小遣いが追いつかない。仕方なく、兄の持っていた純文学を読んでしまった(トホホ…)。とても後味が悪い。本当に純文学は面白くない。

中学生時代の多読により、文章嫌いを克服できたようだ。高校生になって、少し考えた。どうせ読むなら少し賢くなるものと考え、歴史小説を読み始めた。日本や中国の特に長編の歴史小説を読破していった。読むものが無くなって、チャンバラ物の原作まで読んでしまった(ヤ!猿飛佐助ジャジャー)。

大学時代から難しい本でも読みこなせるようになった。祖国の留学時代、韓国語をマスターするためにも読書と思ったが、当時の韓国は表現の自由があまり無く、文壇も貧弱だった。本屋にはあまり読みたい本が見当たらない。

卒業後、当時の中学生・高校生・大学生に蔓延していた武俠小説を読み始めた。あまりにも面白いので韓国語の多読が自然にできた。この小説は2点で、私の韓国語の先生になった。礼儀正しい丁寧な表現や特に争いするときのウ(ヨク:悪口、ケンカ口)を学んだ。ウ(ヨク)なんか誰も教えてくれない。本当に勉強になった(ウーン)。

まっそんなこんなで、今は少し文章を書き、人前で語れるようになった。読書はいいものだ。人生の疑似体験ができ、得る知恵も多い。

分かってはいるけど、なかなか読めない。読書嫌いな、そんな貴方(好きな人以外)! 貴方も好きな内容を見つけて読書をするのも、い・い・か・も・ね!



交流の広場

タヒャンサリ(他郷暮らし)

と故郷への思い 曹小煥

この2年間は、私の今までの人生にとって集大成の年でした。韓半島(38度線を越え北朝鮮に入り金剛山まで)の約1600キロメートルを4ヶ月間かけて、済州島も歩きましたが、いずれも乞食(こつじき)と野宿の一人歩きの旅でした。この年令になって初めて手にした祖国訪問の旅でした。『はじめての祖国とはいえ、知らざるところエグッカ(愛国歌)唄いつ素足で歩む』何度も跣(はだし)で歩いたことがありました。在日の私にとって言葉にまどうさみしき時が多くあり異なる国でしたがまぎれもなく父母の国でした。

釜山から約50キロメートル北に位置する密陽(ミリヤン)が私のふるさとです。日本で生まれて74年間、一度もその土を踏めずにいた在日なのだから“故郷喪失者”といってもよいかもしれません。なぜ74年間故郷を訪れることが出来なかったのかは端的にいうと経済的理由によるものです。過酷な植民地支配のために日本に流浪した朝鮮人の望郷の念を唄ったタヒャンサリ(他郷暮らし)の歌は私の少年時代からいつも身近くにありました。この一曲が私に、南北分断の悲しみこそが大事であり統一への大義なのだを教えてくれました。

私の父母は75年前に渡日し再び故郷の地を訪れることなく一生を終えました。侵略を受け、土地を収奪され、祖国を分断され長い年月が流れて私は父母の遺骨を胸にだいて初めて海峡を渡ったのです。遺骨は故郷の地に散骨しました。

♪タヒャンサリ(他郷暮らし)の歌は父が死の直前よく唄っていました。

韓半島南部を、野宿を重ねて歩きましたが無性に寂しくいつも口ずさんでは泣いていました。他郷とて情が移れば故郷となるものを、在日の私にとってふるさととは、はるか海峡の彼方にあります。

以上

もうなんた 韓国語



『韓国語と朝鮮語』

韓国語と朝鮮語、あれ！同じじゃないの？と言われるかもしれない。厳密に言うと違うのである。

韓国の国名を使用しているのは、南の大韓民国、略称「韓国」である。朝鮮の国名を使用しているのは、北の朝鮮民主主義人民共和国、略称「朝鮮」である。だから韓国語と言えば南の言葉を指し、朝鮮語と言えば北の言葉を指すと言っても差し支えない。

外国人がその国の言葉を学ぶのに、基本は標準語である。方言を話す外国人は、変な外国人のイメージを持たれてしまう。だから皆さんも、標準語を学ぶように注意したほうがよい。変な外国人にならないように(ハハ)。

ところで、韓国語の標準語はソウルの言葉である。朝鮮語の標準語はピョンヤンの言葉である。其々違うのである。NHKさんで教えているのはソウルの言葉である。だから韓国語講座とすべきなのである。ピョンヤンの言葉は、たまにニュース報道で北のアナウンサーが出てきて話す言葉を思い出して欲しい。若干誇張した表現だが看板的なピョンヤンの言葉である。

厳密に韓国語の標準語を規定すると、「現在、中部地方(ソウルが中心)に住んでいる、中流階級(きちんと教育を受けた人の意)の言葉」とある。つまり同じソウルでも、시장(シジャン：市場)などで使っている雑な言葉は、標準語とは言いにくいのである(아쭈마미안해요, 아쭈ムマ ミヤネヨ：おばさんすみません)。学んだ韓国語を実践しようと、あまり시장(シジャン)ばかりにウロチョロしていると、お金もなくなり、言葉も下品になるかも?! くれぐれも、気をつけてください!

又、次回をお楽しみに! 기대하세요(キデハセヨ). さよなら. 안녕히 계세요(アンニョンヒ ケセヨ). バイバイ! 안녕(アンニョン)! (・_・)~~~~

イベント案内

- ・ 常任理事会
場所 第7連合会事務所
日時 1月6日
- ・ 韓国料理講習会 (兵庫県)
場所 プフレ料理教室
日時 1月17日(土)
- ・ 岡山県本部 新年会
場所 西ふれあいセンター
日時 1月24日(土)
- ・ 兵庫県本部 新年会
場所
日時 1月25日(日)

活動内容

12月4日	常任理事会	開催
12月7日	中央ブロック啓蒙講座(兵庫県)	開催
12月9日(日)	第4期第5回会長団会議	開催
12月11日~15日	第12次麗水セミナー	6名参加
12月13日	岡山県本部送年会	開催
12月16日	常任理事会	開催
12月20日	平和統一聯合本部臨時総会	開催
12月21日	第16回平和統一セミナー (兵庫県西ブロック)	開催
12月22日	鳥取県本部忘年会	開催
12月23日	忘年会及び賢仁会発足式	開催
12月26日	姫路支部 懇親会	開催

編集後記

□昨年、第1号を強い決意を持って出しましたが、'09年の新年を迎え、第5号の発刊を素直に喜んでます。更なる決意を重ね、より一層の向上を目指します。新年もよろしくお願いいたします。 <希>

□第5号(新年号)を発行することができてほっと一息。内容の充実した平和統一NEWSを第5号まで発行できたことは、ひとえに会員の皆様が活発に活動していただいた結果だと感謝いたします。今年度はより内容を充実させて、少しでも多くの方がFPUの活動を理解していただけるように努力いたします。本年度も昨年同様よろしくお願いいたします。 <福>

投稿記事募集

交流の広場への投稿記事を募集します。会員の皆様からのご意見などさまざまな記事を募集いたしております。どしどし投稿ください。

FAX. 078-367-4323

E-mail: fpu7@bh.main.jp

謹賀新年

새해 복 많이 받으세요,

『在日同胞의 和合과 共生』의 成事、
『祖国의 平和統一』의 刺激体、
그러한 在日社会가 되기를
眞心으로 祈願합니다.

2009 年 1 月 1 日元旦

平和統一聯合第七連合会
会長 趙希秀 拜

